



舞台あいさつを行った(前列左から)毎熊克哉、大西礼芳(後列同)gb、高橋恵子

主演映画「安楽死特区」 生と死考えて

毎熊克哉

俳優の毎熊克哉(38)が24日、都内で主演映画「安楽死特区」(高橋伴明監督)の公開記念舞台あいさつに共演の筒井真理子(65)、大西礼芳(35)らと登壇した。

医師で作家の長尾和宏氏による同名小説が原作。安楽死を題材に人間の尊厳や生と死、愛を問う。余命半年と宣告されたラッパ―役を演じた毎熊は「この映画がきっかけで安楽死であったり、生と死について考えを巡らせて、ちよっとでも(人生が)豊かになることがいいことだと思おう」と思いを語った。